

令和6年度 第3回 蒲郡市民病院特定認定再生医療等委員会

開催日時：令和7年1月14日（火曜日） 17時00分～15時30分

開催場所：蒲郡市民病院ほか（TV会議方式で開催）

出席者：城委員長、各務副委員長、畠副委員長、本田委員、脇谷委員、黒田委員、久保委員、鳥山委員、飛田委員、紀ノ岡委員、森委員、伊藤委員、佐藤委員、八代委員、神谷委員、松木委員、杉森委員、金子委員

欠席者：室原委員、神田委員、杉島委員

（報告）

1【定期報告】

管理No.	15-01ⅡA、15-02ⅡA、15-03ⅡA、15-04ⅡA、15-05ⅢA
再生医療等提供機関	医療法人 Yanaga CLinic
再生医療等提供機関管理者	理事長 矢永 茄津
再生医療等の名称	・『熱傷、瘢痕、にきび痕、潰瘍、母斑、又は白斑に対する自家培養表皮移植』（第二種）【治療】 ・『軟骨、骨の組織欠損、変形、又は低形成に対する自家培養軟骨細胞移植』（第二種）【治療】 ・『皮下脂肪や皮下組織の欠損や変形、乳房の欠損や低形成又は胸郭変形に対する自家培養脂肪移植』（第二種）【治療】 ・『顔面やその他の部位の瘢痕、傷痕、陥凹変形、老化によるしわに対する自家培養線維芽細胞注入』（第二種）【治療】 ・『顔面やその他の部位のしわ、たるみ、瘢痕、傷痕、陥凹変形に対する自家PRP注入』（第三種）【治療】
議決不参加	畠副委員長、森委員、松木委員 欠席：室原委員、神田委員、杉島委員
技術専門委員	名古屋市立大学病院 形成外科 教授 鳥山 和宏（対象疾患）

●審議及び採決に参加した15名が上記5件の定期報告の内容から安全性、有効性について特に問題は無いとし、再生医療等の継続については【適】とされた。

（報告）

2【定期報告】

管理No.	22-01ⅡA
再生医療等提供機関	きずときずあとのクリニック
再生医療等提供機関管理者	院長 村松 英之
再生医療等の名称	『自家培養表皮を用いた表皮形成術』（第二種）【治療】

議決不参加	島副委員長、森委員、松木委員 欠席：室原委員、神田委員、杉島委員
技術専門員	名古屋市立大学病院 整形外科 教授 鳥山 和宏（対象疾患）

●報告内容から安全性及び有効性については、今回の症例からはまだ十分に明確になってはいない状況である。継続については安全性に留意しながら慎重に実施し、妥当性も示すことができるように努めていただくことで審議及び採決に参加した14名が再生医療等の継続について【適】とした。

（審 議）

3 【変更申請】

管理No.	16-05 II B
再生医療等提供機関	名古屋市立大学病院
再生医療等提供機関管理者	病院長 間瀬 光人
再生医療等の名称	『白斑、改善が困難な瘢痕、難治性皮膚潰瘍に対する培養表皮移植の有効性の検討』（第二種）【研究】
議決不参加	城委員長、島副委員長、久保委員、鳥山委員、森委員、神谷委員、松木委員 欠席：本田委員、脇谷委員、室原委員、神田委員、杉島委員
技術専門員	秋田大学大学院医学系研究科 皮膚科・形成外科 教授 河野 通浩（対象疾患）

●提出された変更届書等の内容から、変更事項について特に問題はなく審議及び採決に参加した9名が【適】とした。また、説明同意文書については対象が8歳から11歳ぐらいということで、大人の視点からの説明ではなく、文章やイラスト等工夫されることが望ましいと考える。

（審 議）

4 【変更申請】

管理No.	24-01 II B
再生医療等提供機関	順天堂大学医学部附属順天堂医院
再生医療等提供機関管理者	病院長 桑鶴 良平
再生医療等の名称	『自己脂肪組織幹細胞と多血小板血漿の混合物を用いた歯槽骨再生に関する安全性試験』（第二種）【研究】
議決不参加	飛田委員、紀ノ岡委員 欠席：本田委員、脇谷委員、室原委員、神田委員、杉島委員
説明者	順天堂大学 革新的医療技術開発研究センター 飛田 護邦 先任准教授
オブザーバー	順天堂大学 革新的医療技術開発研究センター 長井 慈 株式会社 Gaudi Clinical 鈴木 翼
技術専門員	愛知医科大学 歯科口腔外科口座

	教授 各務 秀明 (対象疾患) 名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター 教授 神谷 武 (生物統計)
--	---

●提出された変更届書等の内容から、変更事項について特に問題なく審議及び採決に参加した14名が、【適】とした。

(確認)

3 【定期報告：迅速審査】

管理No.	18-02 II B
再生医療等提供機関	佐賀大学医学部附属病院
再生医療等提供機関管理者	病院長 野口 満
再生医療等の名称	『スキャフォールドフリー自家細胞製人工血管を用いたバスキュラーアクセスの再建』(第二種)【研究】
技術専門員	名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授 室原 豊明 (対象疾患) 名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター 教授 神谷 武 (生物統計の専門家)

●報告内容について問題は無いとするが、現在変更申請が『継続審議中』であり、変更が『適合』となるまでは次の症例へ進まないことになっているために【継続審査】とする。

(確認)

4 【定期報告：迅速審査】

管理No.	20-02 II A
再生医療等提供機関	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
再生医療等提供機関管理者	院長 亀田 俊明
再生医療等の名称	『関節軟骨全層欠損部位への自家培養軟骨移植術』
技術専門委員	医療法人 高遼会 高遼会病院 院長 脇谷 滋之

●報告内容(実施症例数0件、フォロー症例数0件)から、迅速審査扱いとなった。提出された定期報告書等の内容に対して特に意見はないとされ、再生医療等の継続については【適】とされた。